

2020年3月期 決算説明資料

2020年5月15日

日本製紙株式会社



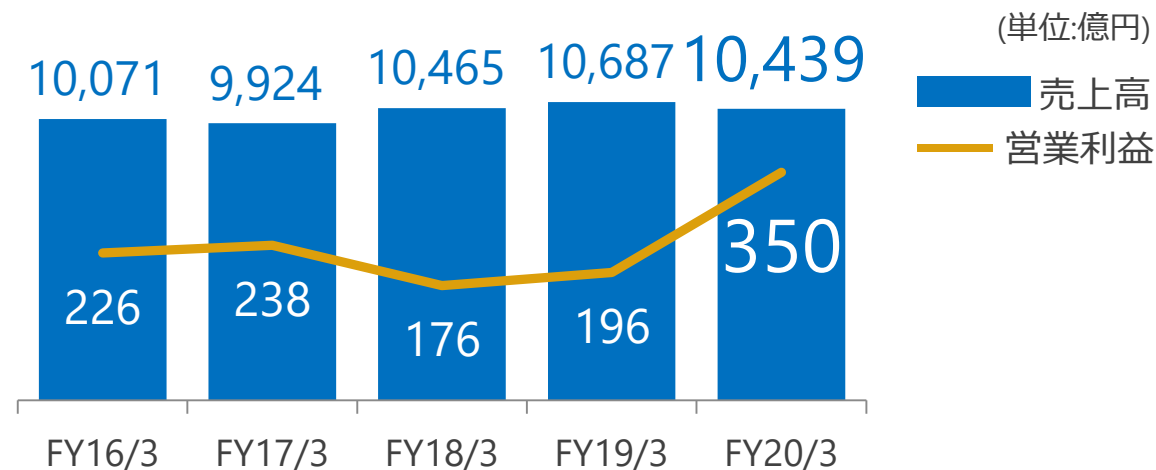
木とともに未来を拓く

連結損益概要

(単位：億円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	10,687	10,439	▲248	▲2.3%
営業利益	196	350	154	78.7%
経常利益	239	305	66	27.7%
当期純利益*	▲352	142	494	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益



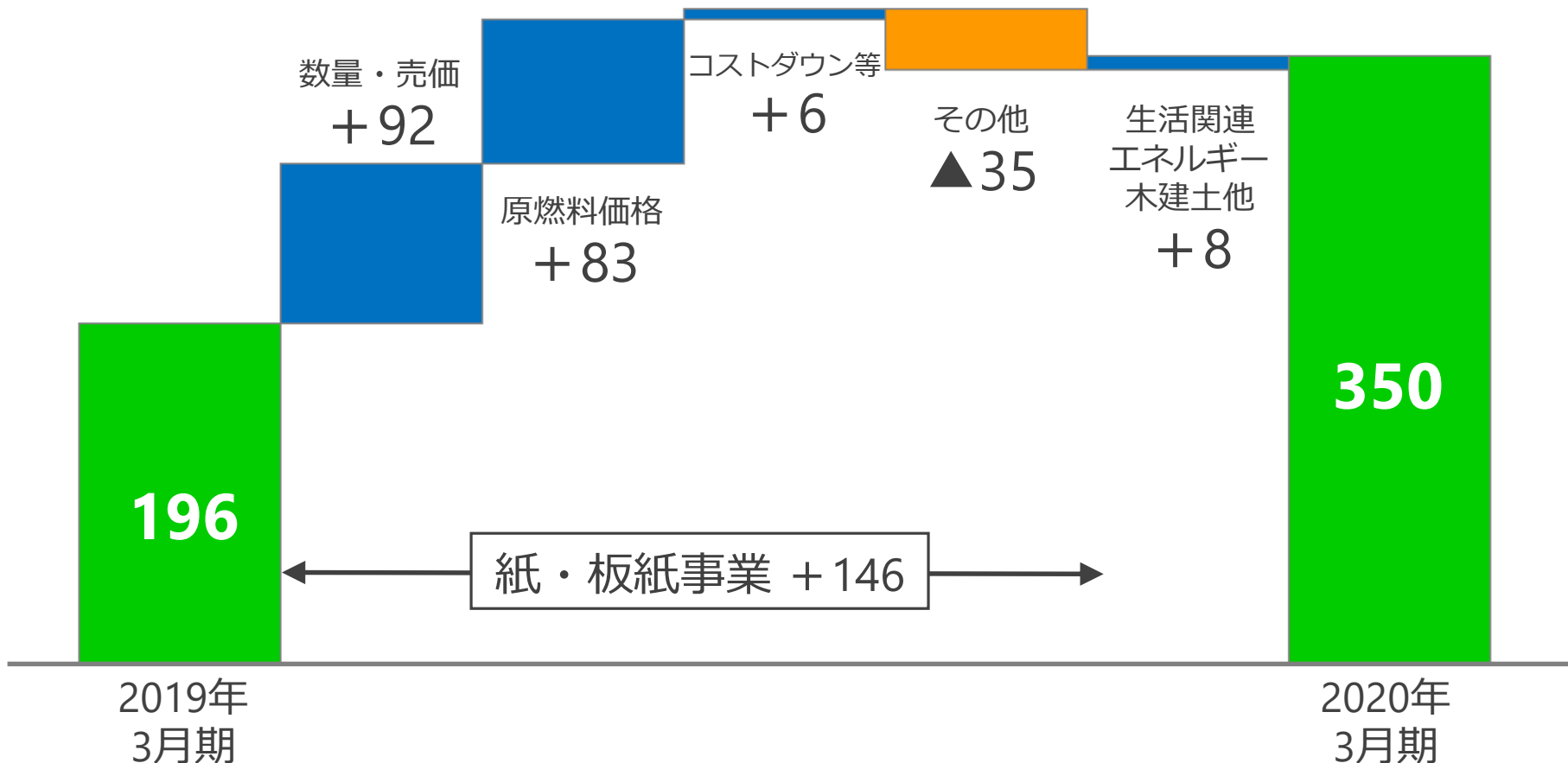
セグメント別概要

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	前年 同期比	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	前年 同期比
紙・板紙	7,385	7,064	▲321	▲81	65	146
生活関連	2,017	2,106	89	116	126	10
エネルギー	362	330	▲32	79	68	▲11
木材・建材・ 土木建設関連	598	616	18	49	59	10
その他	325	323	▲2	33	32	▲1
合計	10,687	10,439	▲248	196	350	154

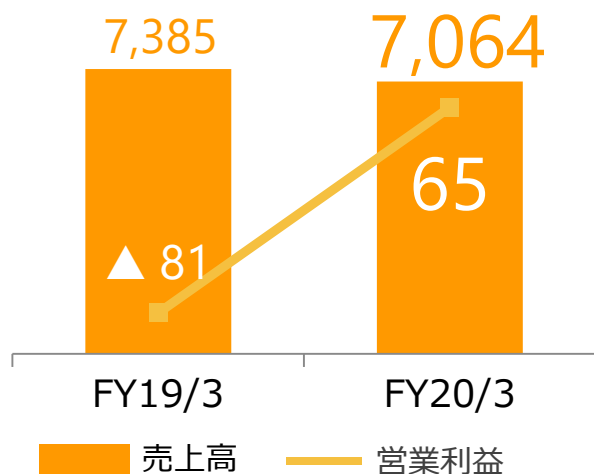
営業利益増減要因

(単位：億円)

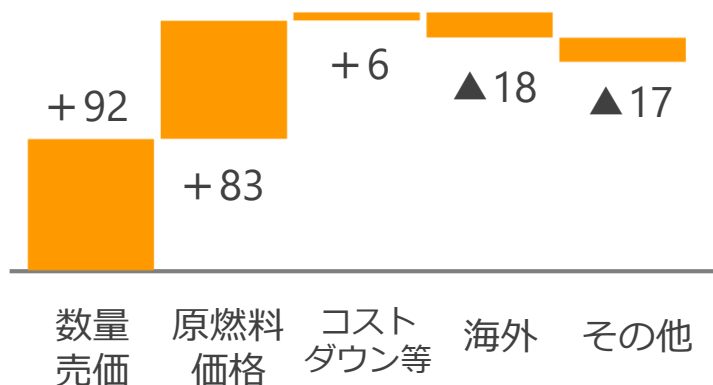


紙・板紙事業

売上高・営業利益 (億円)



営業利益増減要因 (億円)



○国内事業 (洋紙)

印刷・情報用紙および新聞用紙の価格維持効果が発現したものの、新聞の発行部数減少や印刷用紙の広告需要低迷などで国内販売数量は低調に推移した。

○国内事業 (板紙)

国内製品は、天候不順などにより、販売数量が前年同期を下回った。輸出製品は、中国を中心としたアジア地域での需要が弱く、販売数量が前年同期比で減少した。

○海外事業

十條サーマルでの販売数量の減少や販売価格の下落により、前年同期に対して減益となった。

洋紙・板紙販売数量

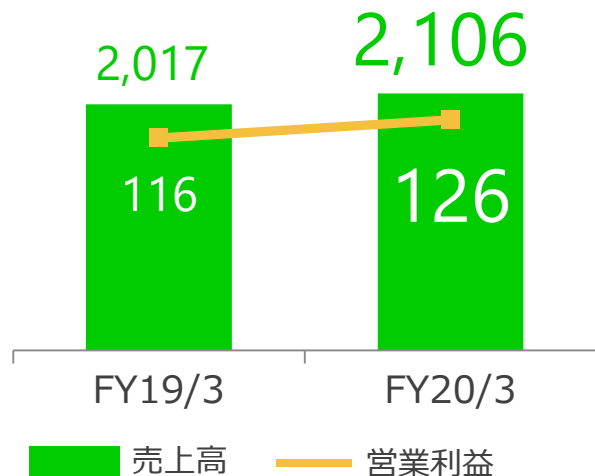
(単位：千t)

	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比
新聞用紙	904	818	▲9.5%
印刷用紙	1,574	1,446	▲8.2%
情報用紙	494	491	▲0.6%
その他	375	362	▲3.6%
国内	3,347	3,116	▲6.9%
輸出	402	309	▲23.0%
洋紙合計	3,749	3,425	▲8.6%
段ボール原紙	1,683	1,614	▲4.1%
紙器用板紙他	369	344	▲6.8%
国内	2,052	1,958	▲4.6%
輸出	203	184	▲9.4%
板紙合計	2,255	2,141	▲5.0%
洋紙・板紙合計	6,004	5,567	▲7.3%

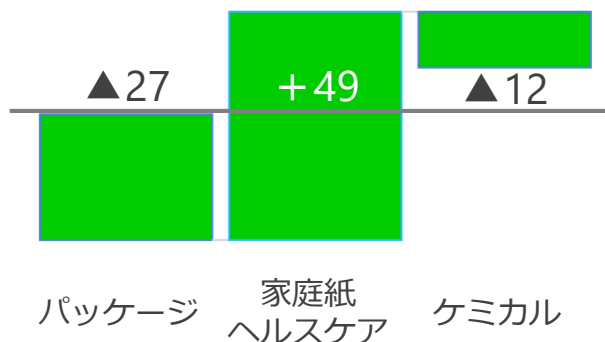
* 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計（衛生用紙除く）

生活関連事業

売上高・営業利益 (億円)



営業利益増減要因 (億円)



○パッケージ

国内の液体用紙容器は、夏場の天候不順の影響により販売数量が前年同期を下回ったが、充填機の販売台数増加により増収増益となった。日本ダイナウェーブパッケージングは、販売数量が前年同期を下回ったことや大型休転実施の影響により、減益となった。

○家庭紙・ヘルスケア

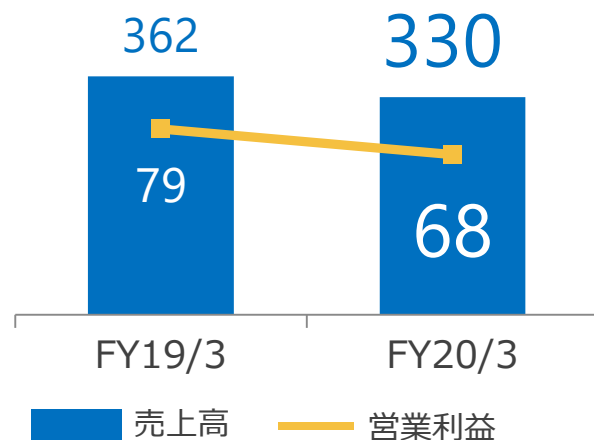
ティシューペーパーやトイレットペーパーなどの需要の伸びに対し、増産対策効果が実現し、販売数量は前年同期を上回った。

○ケミカル

機能性フィルムは、中小型ディスプレイ向けの用途が堅調で、国内販売数量は前年同期を上回ったものの、溶解パルプは中国などの海外需要が低迷し、前年同期に対して減益となった。

エネルギー事業

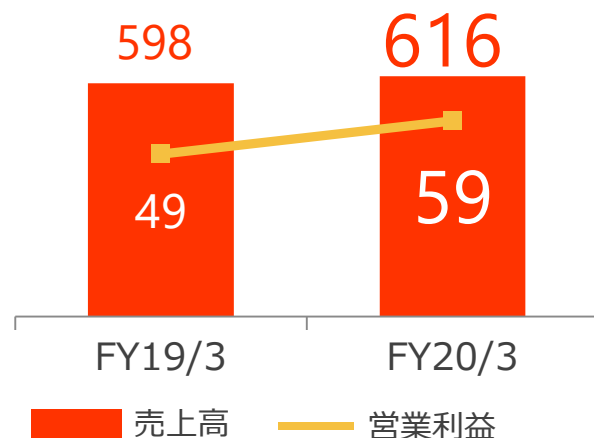
売上高・営業利益 (億円)



発電設備の運転日数が減少したことや固定費の負担増などの影響により、前年同期比で減収減益となった。

木材・建材・土木建設関連事業

売上高・営業利益 (億円)



新設住宅着工戸数が弱含みで推移し、日本製紙木材の製材品の販売数量は前年同期を下回ったが、土木建設関連事業の受注工事が増加したことや、AMCELの販売が堅調に推移したことにより、増収増益となった。

連結貸借対照表

(単位：億円)

	2019年3月末	2020年3月末	前年同期比
資産の部合計	13,908	13,635	▲ 273
現預金	634	528	▲ 106
棚卸資産	1,779	1,718	▲ 61
その他流動資産	2,740	2,722	▲ 18
有形・無形固定資産	6,888	6,895	7
投資その他の資産	1,866	1,771	▲ 95
負債の部合計	9,955	9,769	▲ 186
有利子負債	6,887	6,899	12
その他負債	3,068	2,870	▲ 198
純資産の部合計	3,953	3,866	▲ 87
うち株主資本	3,551	3,643	92
負債および純資産合計	13,908	13,635	▲ 273
純有利子負債	6,252	6,371	119
ネットD/Eレシオ	1.76	1.75	▲ 0.01

連結キャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比
営業活動によるキャッシュフロー	598	670	72
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 475	▲ 701	▲ 226
フリーキャッシュフロー	123	▲ 31	▲ 154
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 67	▲ 74	▲ 7
その他	▲ 11	▲ 1	10
現金及び現金同等物の増減額	44	▲ 106	▲ 150
現金及び現金同等物の期末残高	634	528	▲ 106
減価償却費	604	587	▲ 17
設備投資額	603	706	103

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う当社グループへの影響や、原燃料価格動向、新型コロナウイルス感染症の収束時期など、現時点で合理的に算定することが困難であるため、公表を控えます。

合理的な予想が可能になった時点で速やかに公表します。

(1) 紙・板紙事業セグメントの連結営業利益

2020年3月期実績：65億円  2021年3月期参考情報：35億円

*新型コロナウイルスの影響による販売数量の減少に加え、原材料価格の増減影響などを織り込んで算出

●前提

新型コロナウイルス感染症の影響により、新聞用紙・印刷用紙の需要が上期中は大きく減少し、下期は緩やかに回復すると仮定。

・販売数量（対前年）

国内新聞用紙

▲15%/年

国内印刷用紙

▲12%/年

・主要原材料価格、為替

為替（米ドル）

110円/ドル

原油

50ドル/バレル（ドバイ）

古紙

足元横ばい

石炭

69ドル/t（豪州炭ベンチマーク価格）

(2) 豪州・ニュージーランドでの板紙パッケージ事業の譲受け

一過性の取得関連費用約55億円を主に2021年3月期 第2四半期に計上する見込み

参考資料

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

主要指標

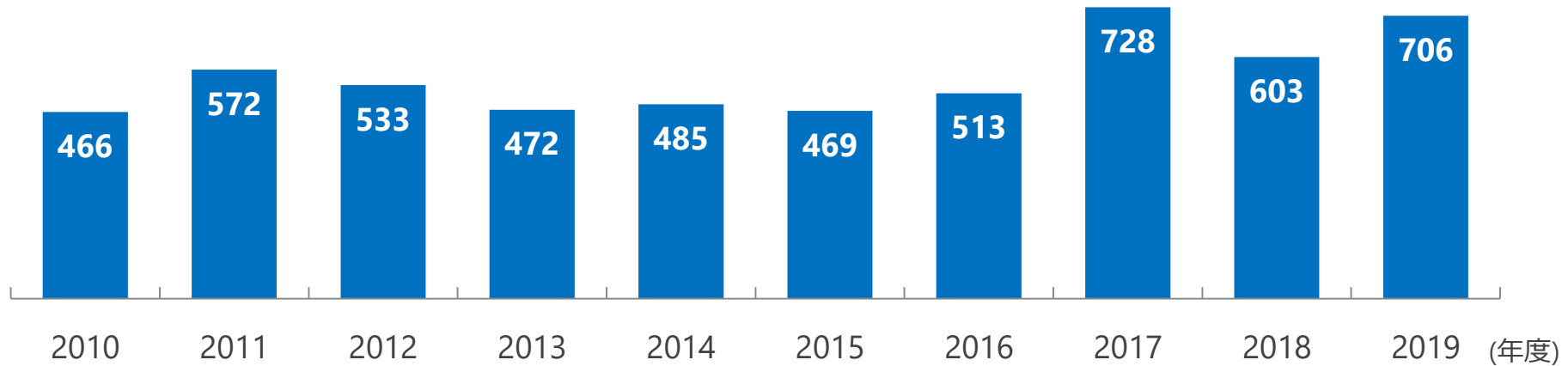
	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
売上高営業利益率	2.2%	2.4%	1.7%	1.8%	3.4%
売上高経常利益率	1.7%	2.7%	1.8%	2.2%	2.9%
設備投資額（億円）	469	513	728	603	706
減価償却費（億円）	577	551	579	604	587
EBITDA（億円）※1	928	893	837	861	977
純有利子負債（億円）	5,913	5,880	6,346	6,252	6,371
ネットD/Eレシオ （純有利子負債資本比率）	1.47	1.49	1.61	1.76	1.75
正規従業員数（人）	11,741	13,057	12,881	12,943	12,595
一株当たり純利益(円)	20.95	72.57	67.80	-304.34	122.89
一株当たり配当金(円)	60	60	60	30	40
総資産利益率（ROA）※2	2.0%	2.6%	1.9%	2.2%	2.7%

※1： EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 受取配当金 + 受取利息 + のれん償却

※2： ROA = (経常利益 + 支払利息) / 総資産

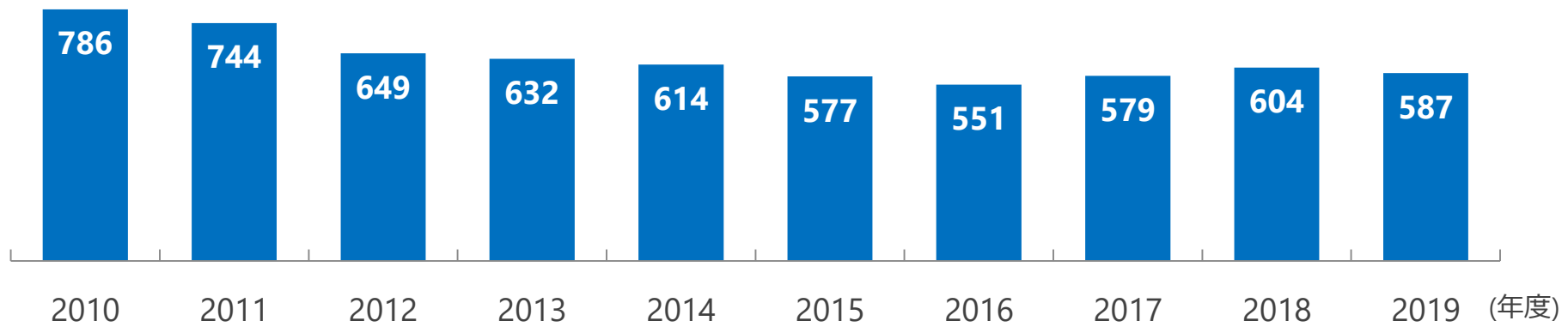
設備投資額

(単位：億円)



減価償却費

(単位：億円)



*2020年度の設備投資額と減価償却費は未定

紙・板紙の出荷量と輸出入

<2020年3月期 国内メーカー実績>

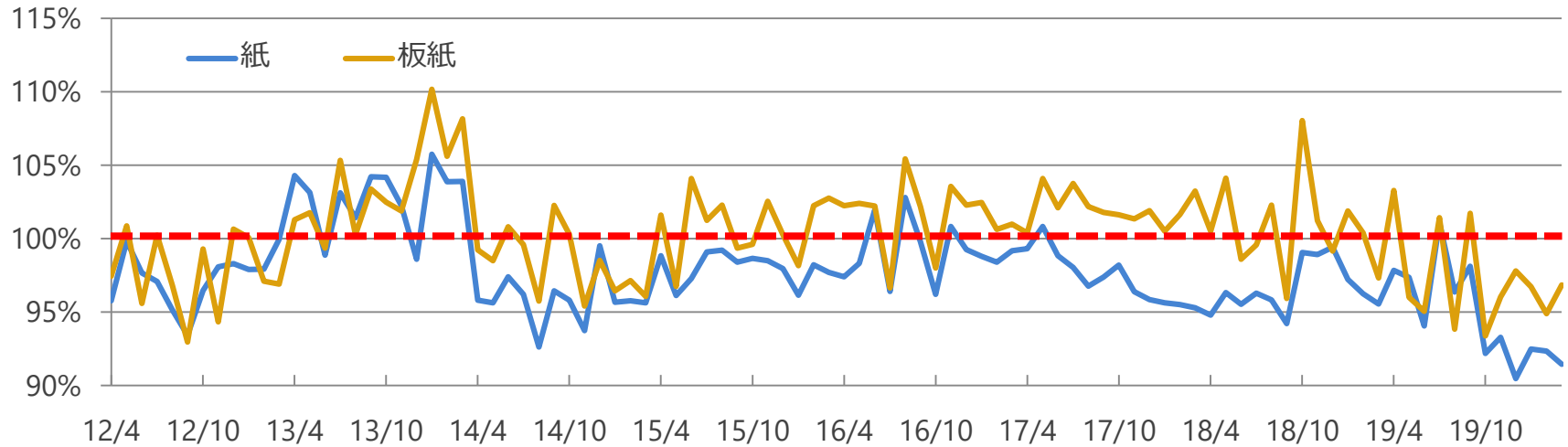
(数量：千t)

	国内出荷高(A)		輸出(B)		合計 (A+B)		輸入	
	数量	(前期比)	数量	(前期比)	数量	(前期比)	数量	(前期比)
新聞用紙	2,349	▲7.7%	0	—	2,349	▲7.7%	2	▲17.3%
印刷・情報用紙	6,642	▲6.9%	539	▲30.2%	7,181	▲9.2%	973	37.9%
塗工印刷用紙※	3,591	▲9.3%	408	▲26.6%	3,999	▲11.4%	454	113.0%
非塗工印刷用紙	1,746	▲4.1%	102	▲44.6%	1,847	▲7.8%	55	26.7%
情報用紙	1,305	▲3.7%	30	▲12.2%	1,335	▲3.9%	464	3.3%
その他	3,219	0.1%	303	▲6.4%	3,523	▲0.5%	54	22.1%
洋紙 合計	12,210	▲5.3%	843	▲23.2%	13,053	▲6.7%	1,029	36.8%
段ボール原紙	9,044	▲2.4%	554	8.9%	9,598	▲1.8%	43	▲14.6%
紙器用板紙他	2,155	▲4.1%	26	▲8.9%	2,181	▲4.1%	267	0.3%
板紙 合計	11,200	▲2.8%	579	8.0%	11,779	▲2.3%	310	▲2.1%
紙・板紙合計	23,410	▲4.1%	1,422	▲13.0%	24,832	▲4.7%	1,338	25.3%

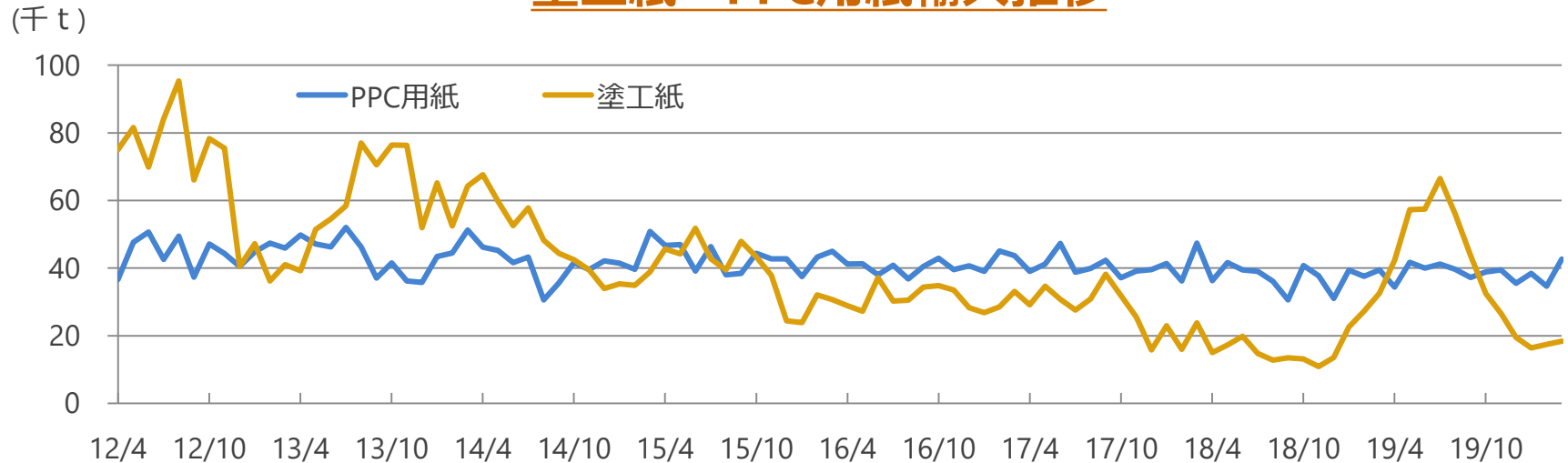
※ 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

メーカ一国内出荷量（対前年）、塗工紙・PPC用紙輸入推移

メーカ一国内出荷量(対前年)



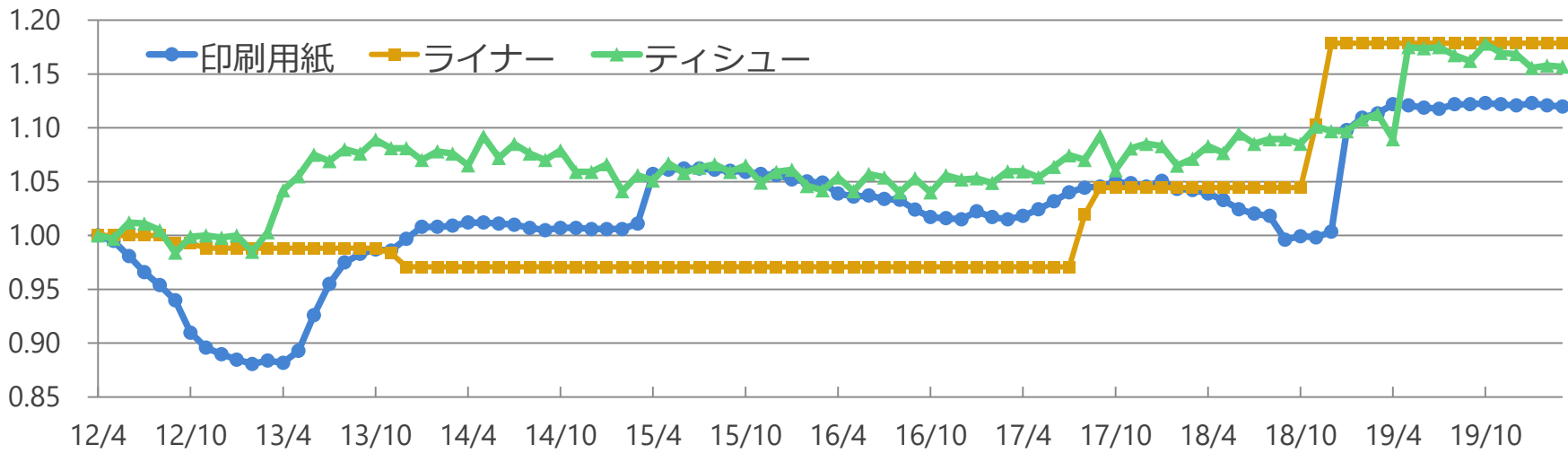
塗工紙・PPC用紙輸入推移



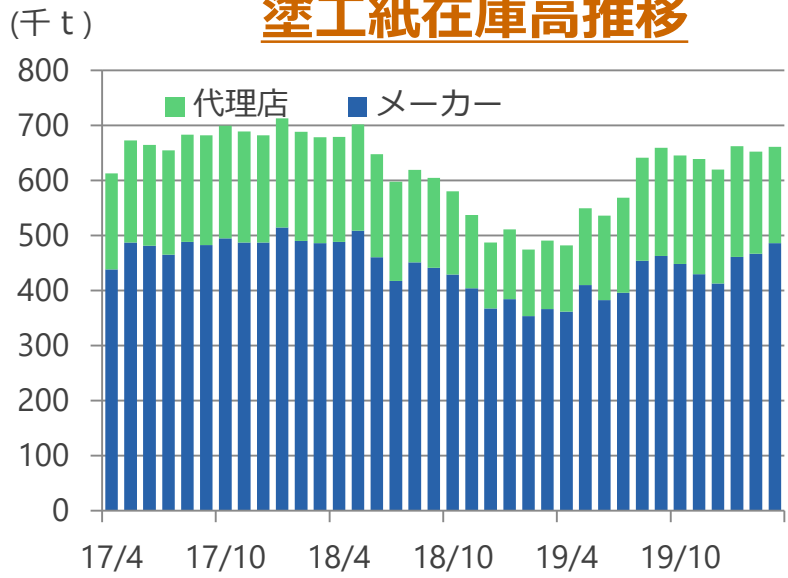
品種別価格動向、塗工紙・段原紙在庫高推移

品種別価格動向

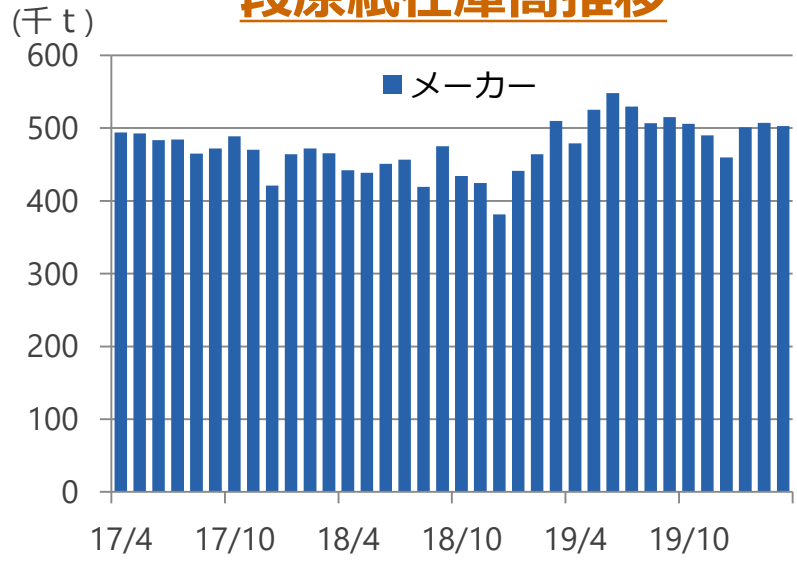
(2012年4月 = 1)



塗工紙在庫高推移



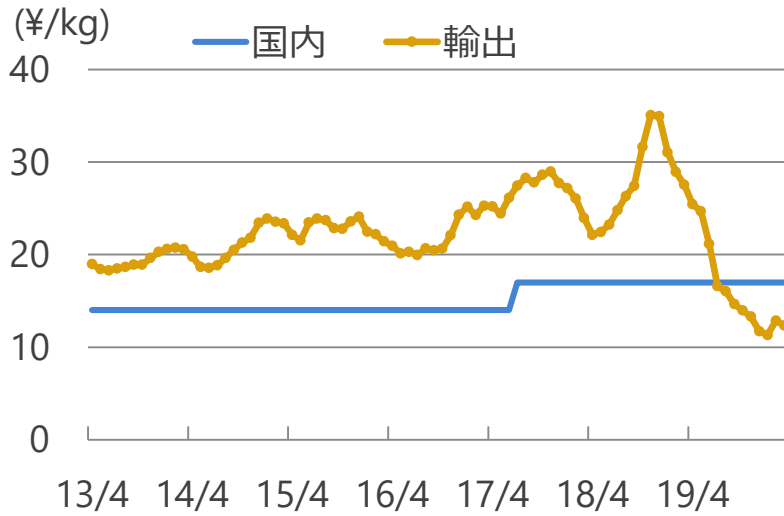
段原紙在庫高推移



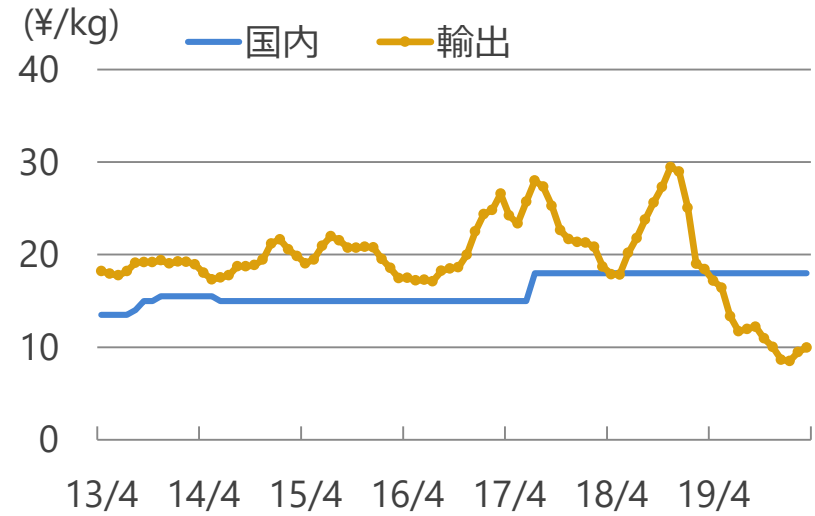
出所：日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」

主要原燃料価格動向

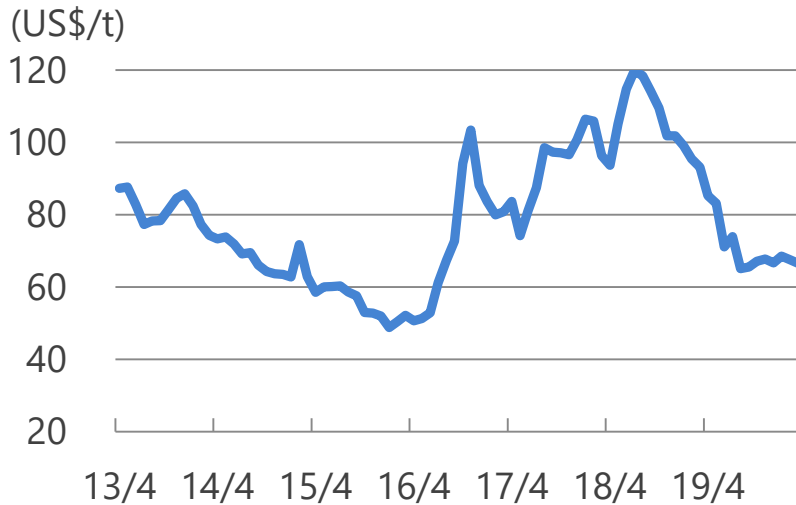
新聞古紙



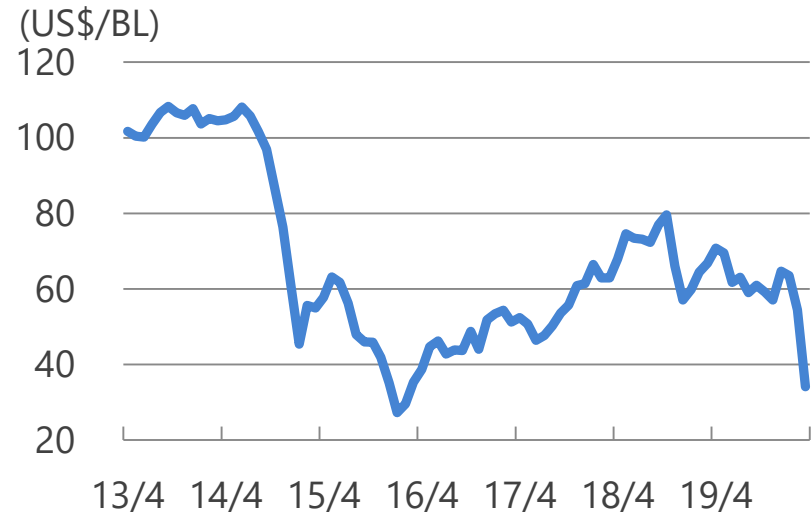
段ボール古紙



石炭



原油



出所：古紙再生促進センター、財務省貿易統計、日本経済新聞、Global Coal Index

日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

<注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

日本製紙株式会社